

高校生に工業系の仕事の魅力を伝える！

Career Project for Engineering

1. 企画概要

現状のキャリア教育では、進学についての説明がメインとなっているため、大学合格がゴールとなってしまう、その先の仕事についてイメージすることが難しい。これらの点を補うために、これからの進路選択を控えている高校1, 2年生を対象に、仕事と関連した体験型のワークショップを実施する。

2. 活動内容

2.1. 高校での実施内容の作成

高校でのワークショップ実施に向けて、6分野（電気・機械・建築・情報・食品・ものづくり）のワークショップの内容を6月～10月の期間で作成した。作成したものは、発表用のスライド資料、配布用の手元資料、体験学習用の資料の3点である。ワークショップは対面用とオンライン用の両方に対応できるように作成した。また、高校によって使用している端末（PCなど）が異なることから、端末によって内容を適宜変更することにした。作成した資料が専門分野の内容からずれがないことの確認のため、各分野の先生方をお願いし、添削を行っていただいた。

資料作成の後、高校での実施に向けて、1度大学生向けに少人数規模で実施を行った。参加していただいた学生からFBをもらい、実施に向けて内容の改善を行った。

2.2. 広島工業大学高等学校での実施

- 11月8日に広島工業大学高等学校にて、希望者を集め対面形式で実施
- 参加希望者は合計7名。
- 参加分野の内訳は、機械1名、建築2名、情報3名、ものづくり1名である。
- 教員の方も5名見学していただいた。
- 企画実施後に生徒と教員の方へのアンケート調査を実施

2.3. 広島県立広島観音高等学校での実施

- 12月6日に広島県立広島観音高等学校にて、希望者を集め対面形式で実施
- メンバーの参加人数の関係上、全分野の全体説明を簡単に行った後に、電気とものづくり分野のワークショップを実施
- 人数の内訳は、全体説明のみ9名、電気分野が1名、ものづくり分野が8名であった（計18名）。
- 教員の方も2名見学していただいた。
- 企画実施後に生徒へのアンケート調査を実施

2.4. 広島県立広島国泰寺高等学校での実施

- 12月10日に広島県立広島国泰寺高等学校にて、希望者を集め対面形式で実施
- 参加希望者は4名。
- 高校生の参加希望分野が情報のみということで、情報分野のみで実施
- 2名の教員に見学していただいた。
- 企画実施後に生徒と教員の方へのアンケート調査を実施

3. 今後の活動予定

- 12月22日に広島県立広島井口高等学校で授業の1部として理系学生を対象に対面形式で企画実施予定。参加予定人数は118名
- 12月23日に広島県立三原高等学校で、希望者を対象にオンライン形式で企画実施予定。参加予定人数は未定。
- 1月31日に広島県立高陽東高等学校で、授業の1部として希望者の理系学生を対象にオンライン形式で企画実施予定。参加予定人数は未定。

4. まとめ・反省など

3校での企画実施で、合計29名の高校生に参加していただいた。高校生への企画に対する満足度アンケート調査では、27名が「大変満足」2名が「満足」と回答している。また、今後の進路に役立つかどうかというアンケートでは、21名が「大変役立つと思う」、6名が「役立つと思う」、2名が「あまり役立たない」と回答している。生徒が書いてくれた感想の中には、「参加して学びたい分野ができた」「どんな仕事がいいか考えるきっかけになった」「大学選びに役立つ。他の分野も話が聞きたい」などの声があった。

見学していただいた3校合計6名の教員の方へ生徒への進路学習に役立ったかどうかのアンケートでは、3名が「大変役立つ」3名が「役立つ」と回答している。また、来年度も実施したいかどうかのアンケートでは、4名が「ぜひ実施したい」、2名が「実施したい」という回答であった。感想として「生徒に体験させることでより理解が深まると感じた」などの声があった。

このような点から、企画実施が高校生の進路を考えるきっかけの1つとして役立つのではないかと改めて感じている。

広報部との連携を経て、当初の予定であった3校を上回る計6校で実施予定です。これは私たちのみでは到底達成できませんでした。実施させていただく高校さんや教学支援部、広報部をはじめ、この企画に関わっていただいた方々には、メンバー一同感謝しております。